

〈熊本支部例会事前抄録〉

日時：2018年8月28日（火）19：30～

会場：添島歯科クリニック研修室

— 一般講演抄録1 —

歯肉縁下に及ぶ破折歯に対し保存的に対応した症例

山田宗敬 やまだ歯科 〒862-0963 熊本県熊本市南区出仲間 7-1-36

■略歴

2001年 広島大学歯学部卒業

2011年 やまだ歯科開設

■所属団体

日本臨床歯科医学会 熊本支部

日本口腔インプラント学会

日本歯周病学会

日本顎咬合学会

■抄録

近年前歯部審美領域におけるインプラント治療もプロトコールが確立しつつあり予知性もある程度高くなってきたと感じる。しかし、審美性も含めた良好な長期的予後を獲得するためには埋入ポジションのみならず、軟組織のマネイジメント、補綴物の作製など非常に繊細な技術が必要であり、患者の口腔内の条件、審美的要求度、年齢などによっては難易度が高くなる。それゆえに経験の浅い術者の場合安易に手をつけるのは危険なこともあると考える。

今回、関係者からの紹介で前歯部のインプラントを希望し来院された若年者の患者に対して、総合的に考えインプラントを回避する方向で治療を進めた症例を経験した。現在テンポラリークラウン装着中だが、これまでの過程を反省を含め発表する。